

証券市場新聞

1 第134号

日経平均株価

2万2516円83銭

▼176円21銭(前日比)

TOPIX

1744.83

▼5.80(前日比)

2018

6/25

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心齋橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



活発化するテーマパーク

東京DCの拡張が好循環を生む



テーマパークには多く

の外国人観光客も訪れる

ロジエクトが発表され、これにより集客力の増加やホテル事業の利益貢献が期待され、投資（パーク拡張）が更なる集客を呼び込み、それが株価

のキャラク（7974）に反映、親会社の京成電鉄（9009）も最高値を更新し、今後好循環が続くことが期待される。一方、関西地域の観光客増に貢献しているUSJもハリ

オリエンタルランドが運営する東京ディズニーランドと東京ディズニーシーの2パーク合計の入園者数は、15年3月期の過去最高3137万7000人から落ち込んでいたが、3月期に3010万人（17年3月期300万4000人）は再び増加に転じている。そのような状況下、2022年度中の導入を目標として、約2500憶円（予定）を投じて東京ディズニーシーの敷地を拡張するプ

ロジエクトが発表され、これにより集客力の増加やホテル事業の利益貢献が期待され、投資（パーク拡張）が更なる集客を呼び込み、それが株価

に反映、親会社の京成電鉄（9009）も最高値を更新し、今後好循環が続くことが期待される。一方、関西地域の観光客増に貢献しているUSJもハリ

USJは過去最高の入場者

トランプ大統領による米国の通商政策を契機に世界的な貿易戦争への懸念が高まるなかで、物色は内需系が選ばれている。その象徴的な動きはオリエンタルランド（4661）で17年6月28日の安値7419円からほぼ1年後の今年6月15日には1万1990円の高値を付け、右肩上がりの株価上昇が続いている。西の雄であるユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）も来場者数の鋭角的な増加が続いており、テーマパーク関連周辺ビジネスの活況が注目される。

日経平均日足チャート

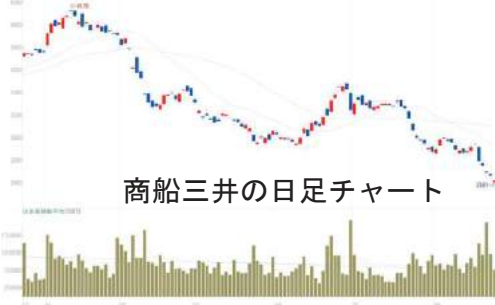


ターやゲームの世界観を再現したエリア「SUPER WORN」の开业を予定している。USJ前に2つのホテルを経営している京阪ホールディングス（9045）の株価も3月26日の年初来安値3190円から6月13日には4040円の年初来高値を更新。ユニバーサルシティ駅を有するJR西日本（9021）も株価は上昇基調となっており、関連企業の株価にも好調が波及している。

海運は値下りトツプ

円安進行で海外ファンド買戻し

週明け18日、日本郵船(9101)、日本商船三井(9104)、川崎汽船(9107)をはじめ海運株が総じて安い。業種別指数で海運は下落率トツプとなった。トランプ米大統領が中国の知的財産権侵害への制裁措置として500億ドル分の中国製品に25%の輸入関税をかけると発表したことに對して、中



今週の動意銘柄

「体電池」の基盤技術の開発を始めると発表したことを受け、関連銘柄として全固電池の本格的な市場拡大を期待した買いが向かった。

大阪建設会社に思惑買

18日、大阪北部で最大震度6弱の地震発生を受けて第一カッター興業(1716)や誠建設工業(8995)、南海辰村建設(1850)などが買い進まれた。今回の地震を受けて建設株全般には物色は広がっていないが、被害状況が明らかにになると、地元の建設会社が思惑的に買われている。

オハラは全固電池関連

18日、オハラ(5218)が前週末のストップ高に続きこの日も値を飛ばした。前週末15日にNEDC(新エネルギー・産業技術総合開発機構)がトヨタ(7203)などと「全固

インフォテリ58%減益予想

19日、インフォテリア(3853)が急落、東証全市場で値下がり率トツプとなった。18日の取引終了後、未

駅探はS高で新値

18日、駅探(3646)がストップ高まで買われ、年初来高値を更新。クラウド型旅費交通費精算サービス「駅探BIZ」を開発、7月から発売すると発表されたことを受けたことを期待した収益貢献を期待した買いを集めた。運賃検索などの機能に加え、Suica、PASMOなどICカードに蓄積された電車の乗車履歴データを独自技術により解析、加工することで交通費精算業務を大幅に効率化できる。

正直いいさんの株で大判小判

22日の東京市場は3日ぶりに反落。21日のNYダウが8日続落するなど欧米株安を嫌気、為替が円高に振れていることも重しになっています。日経平均は前日までの2日間で400円強戻しましたが、指数再度下落し主体で乱高易戦争を含問題長期週明けも神値を飛ばす別には物色意欲も上場2日目の開価格の3・5ストップ高までピックアップ(6869)が連日で最高値を更新、ソウルドアウト(6553)も底堅い動きで、ファイバーゲート(9450)も中期で狙っていたと考えです。花咲



ライドオン新値追

19日、ライドオン・エクस्प्रेस(6082)が大幅高で新値追。ペッパーフードサービス(3053)の人気ブランド「いきなり!ステ

資を実施することが要因。

0万円(同57・7%減)と大幅な減益を見込んでいるを嫌気した。3年後の21年3月期に売上収益50億円、営業利益10億円という大きな成長を達成するために、先行投

キーのデリバリーを開始すると発表したことが好感された。先行トライアルとして18日から立川店、赤坂店、新橋店でサービスを開始しており、今後の取り扱い店舗拡大と収益貢献を期待した買いを集めた。

KeyHはS高で新値

秋元康氏らと新たな事業展開



KeyHの日足チャート

（代表取締役 赤塚善洋）との業務提携とともに特別顧問に秋元康氏を招聘、同時にライブ動画ストリーミングプラットフォーム「SHOWROOM」の運営、

19日、KeyH（47）が12）が急伸、年初来高値を更新した。BY&NORTH（代表取締役 秋元伸

20日、キリンホールディングス（2503）やハブ（3030）などワールドカップ関連が高い。19日に開催されたロシア大会の1次リーグで日本がコロンビアから劇的な勝利を収めたことが好感された。南米勢からの初勝利で次戦への期待も高く、公式スポンサーやライブビューイングなどを開

ワールドカップ関連高い

番組制作などを行うSHOWROOMとの業務提携を発表したことが材料視された。秋元氏や赤塚氏、A.M. Entertainment（東京都渋谷区代表取締役 村山隆弘）らと合弁会社を設立、不動産開発力やオペレーション力、コンテンツプロデュース力、イベント・プロモーション力やタレントマネジメント力などを融合し、ラ

20日、ビジョナリーホールディングス（9263）が上最高値を更新。新中期経営計画で最終年度の22年4月期に連結営業利益25億円と前期実績（7億1000万円）の3倍強の意欲的な目標を設定したことが好感された。

ビジョナリー中計目標

イブ・エンターテインメントで新たな事業領域を開拓する。公開価格67%上回るメルカリの初値 19日、メルカリ（4385）が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格3000円を67%上回る5000円で初値が生まれた。CtoCマーケットプレイス「メルカリ」その他マーケットプレイス関連事業の開発、運営する。

公開価格67%上回る

◎株は底値買で大きく取るべし・門外不出の大伸流底値買成功法あり

◎日経平均に関係なく最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(6月18日)

- 野村HD →目先650~700円→当面750~800円→大局900~1000円目標、押目買OK
- 新日鉄住金 →目先2900~3000円→当面3300~3500円→大局4000~4200円目標、押目買OK
- 大日本住友薬 →目先4000円前後(達成)→当面4500円前後(接近)→大局5000~5500円目標、押目買OK
- 三菱土所 →目先2100~2200円→当面2400~2500円→大局2800~3000円目標、押目買OK
- パイオニア →目先190~200円→当面220~230円→大局280~300円目標、押目買OK
- トヨタ →目先7500円前後(達成)→当面8000~8300円→大局1万円目標、押目買OK
- 大太平洋金属 →目先1900~2000円前後(達成)→当面2200~2300円前後(達成)→大局2800~3000円目標
- 武田薬品 →世界がビックリの7兆円問題で高値6693円より暴落中、一段安で断固買

◎当社の基本は大局倍化、当面5~6ヵ月50%高前後目標の投資の王道なり(迷える投資家は試見)

底値買銘柄は当社にお任せください・底値大幅高予想銘柄お知らせします(成果確認)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

大伸経済研究社 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません
 (会費が高い少数の会員制なり)(広告参照) 目標値は当社独自の分析による予想値です
 (1年後の成果に自信ありお試ください) 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00) インターネットでの資料請求は[ここをクリック!](#)
 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2

企業観察

グルメ杵屋 (9850)

椋本社長 攻めの経営に意欲



20日、大阪市中央区のマイドームおおさかで第52回定時株主総会を実施した。総会で議長を務めた椋本充士社長は「レストラン事業では高付加価値商品の導入と新規出店、新業態の開発を更に推進し、来店客数の増加を進めるとともに、

新たな投資案件や海外進出も

社外からの店舗譲受やM&Aにも積極的に取り組む」と今後の戦略を語った。加えて「新たな投資案件や海外進出にも注力する」と攻めの経営に意欲を見せた。株主総会では、各セグメントの業績や新たに子会社となった東京都の高級蕎麦店である銀座田中屋の説明も行われ、投資家からの数多くの質問にも丁寧に応えていた。会場には介護老人福祉施設「グルメ杵屋社会貢献の家」から介護福祉士2名を派遣し、総会出席者の健康配慮には万全を尽くしており、総会後の懇親会を含めて株主重視の印象を強くした。

不二越は関税適用除外

21日、不二越(6474)が反騰。トラップ米政権が発動した鉄鋼とアルミニウムの輸入制限について米商務省が関税の適用を品目別に除外する手続きで42品目の適用除外を発表、日本など7社の製品が選定され、同社の米国法人「ナチ・アメリカ」(インディアナ州)の申請が認められた。

公開価格の2.5倍

21日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したログリー(6579)が公開価格1860円の2.5倍となる4635円で初値が生まれた。同社はインターネット広告配信プラットフォーム「loggly life」のサービス提供を行う。

エムケイシステムS安で最安値

TCCK社効果で上方修正

20日、エムケイシステム(3910)はストップ安で上場来安値を更新。過年度の追加支払いを行うと発表したことを嫌気した売りが殺到し、13年3月期から18年3月期までの決算を下方修正、19年3月期に特別損失を計上する。ライセン



エムケイシステムの日足チャート

20日、アークランドサカモト(9842)が急反発。19年2月期1Qの連結決算を発表、売上高274億2500万円(前年同期比3.3%増)、営業利益27億5400万円(同3.9%増)、純利益は17億500万円(同11.2%増)と増収増益となったことが好感された。ホームセンターは新規店舗が寄与、とんかつ専門

アークランド急反発

に当たるライセンスを上乗せして支払う。

下降相場入り

先週の東京株式市場は反落となりました。日経平均だけ見ていると2万2000円~2万3000円でのボックス相場の様相です。しかし、TOPIXに目を向けると現状の株式市場が厳しい局面を迎えていることに気づきます。TOPIXは75日線や200日線を割り込んできました。25日線割れならば短期的な調整下落局面という意味合いですが、75日線、200日線を割り込んできたということは中長期で下落相場に入ってきたということです。

NT倍率が1.3倍近くに拡大したことで、日経平均は歪な価格形成をしていることが伺えるため、TOPIXを指標に相場を組み立てねばなりません。値惚れで買い向っても無駄な鉄砲になるものと思われ、ここはヘッジを交えながら、買いは取り組み妙味の高い25日線上の個別銘柄狙いに徹するところでしょう。

日々勇太郎



転ばぬ先のテクニカル

グルメ杵屋 (9850)

新規出店とM&Aで成長

今3月期24.4%営業増益見込む

グルメ杵屋(9850)は主力ブランドの「杵屋」を筆頭に顧客のニーズに合った複数のうどんチェーン店を展開、韓国料理やタイ料理などのアジアレストランや機内食と業務用冷凍食品の製造など食に関する様々な分野に進出している。

レストラン事業では既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進、銀座田中屋子会社化による3店舗増や5店舗の新規出店効果など表面化。機内食事業では前期に稼働した福岡工場の創業費が無くなったこともあり、前18年3月期は連結売上高で404億7200万円(前の期比2.7%増)、営業利益5億5600万円(同34.9%増)

特選銘柄

と大幅な増益を達成している。レストラン

来店客数の増加を図るとともに、新規出店ロケーションの開発やM&Aにも積極的に取り組んでいく方針で、19年3月期は売上高で407億6000万円(前期比0.7%増)、営業利益は6億9200万円(同24.4%増)を見込んでいる。

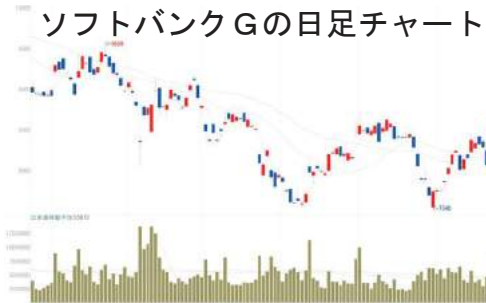
グループ各社において事業の選択と集中により有望な既存事業のブラッシュアップを行い、生産性を向上し、経営効率も高めていく。

付加価値商品、新業態も

ン事業は収益力改善を最優先課題として、高付加価値商品の導入と新業態の開発を更に推進し、



グルメ杵屋の日足チャート



ソフトバンクGの日足チャート

インデックスとAI投資主体
ソフトバンクGの株価は、先週末22日、前日に東証マザーズに新規上場したZUU(4387)が公開価格1600円の上場初値を大きく上り、22日、ライトアップの初値(6580)が東証マザーズに新規上場、公開価格2820円を32.1%上回った。同社は資産運用を支援するプラットフォーム「ZUUオンライン」を中心とした金融商品やフィンテックサービスのマーケティングのマーケティングを行う。

ソフトバンク大賑わい

インデックスとAI投資主体

21日、ソフトバンクグループ(9432)は、東証1部売買代金2位と膨らませ、海外市場への先物取引のシ

公開価格50%上回る

コーア商事HDの初値21日、コーア商事ホールディングス(9273)が東証2部に新規上場、公開価格2804円を49.8%上回る4000円で初値が生まれた。ジェネリック

公開価格の2.3倍

21日、SIG(4386)がジャスダックに新規上場、公開価格2000円の2.3倍となる4665円で初値が生まれた。システム開発とインフラ・セキュリティサービスを提供する。

公開価格32%上回る

22日、ライトアップの初値(6580)が東証マザーズに新規上場、公開価格2820円を32.1%上回った。同社は資産運用を支援するプラットフォーム「ZUUオンライン」を中心とした金融商品やフィンテックサービスのマーケティングのマーケティングを行う。

今週の動意銘柄

「スイッチ」向け開発案件増加

銘柄探究



記者の目で企業実態を解析



ト一セの日足チャート

ト一セの連結業績推移

単位：100万円

決算期	売上高	営業利益	純利益
15/8	5,580	519	416
16/8	4,874	259	93
17/8	4,705	307	209
18/8(予)	4,625	164	134

株 価 展 望

**中長期成長性
不変で拾い場**
株価は4月5日の1629円から6日に1200円台までスピード調整となり、その後は揉み合い基調を

続けている。18年3月期の通期業績下方修正は一時的要因であり、来期以降の中長期的な成長が不変。無借金経営で財務内容も良好であり、時価近辺は絶好の買い場になろう。

スマホ向けアプリもニーズ

ト一セ(4728)は家庭用ゲームソフトの開発・制作請負で專業最大手を誇る。プレイステーション4(PS4)向けに加えて「Nintendo Switch」向けの開発受託やスマートフォン向けアプリ開発のニーズも増えている。

900万円(前年同期比8.2%増)、営業損益で9100万円の黒字(前年同期5400万円の赤字)、最終損益で4800万円の黒字(同9000万円)

**ト一セ
(4728)**

4月5日に発表した18年8月期の第2四半期累計(17年9月1日〜18年2月28日)決算は売上高で18億8

000万円(前年同期比8.2%増)、営業損益で9100万円の黒字(前年同期5400万円の赤字)、最終損益で4800万円の黒字(同9000万円)

の赤字)と黒字転換となつている。複数のスマートフォン向けゲームにおいて運営業務を着実に遂行したことが増収に寄与し、前年に試みた開発費の一部を同社が負担し、当該費用をロイヤリティ売上上で回収するビジネスモデルの採用を控えたことが黒字転換に影響している。

期比1.7%減)へ、営業利益で5億1000万円から1億6400万円(同減)へ、純利益で46.7%減)へ、

開発人員の離職防止の取り組みとして有期契約社員の無期雇用への転換や賃金のベースアップを図るとともに、フィリピン子会社の積極的な活用に取り組んでいる。同社の強みである技術力・開発力を活かした企画・提案力の向上に努めるとともに、DevOps(開発・運用が一体となったソフトウェア開発体制)も強化する方針。

DevOpsを強化へ

3億800万円から1億3400万円(同35.9%減)へ下方修正している。スマートフォン向けゲームの開発の引き合いは堅調であるものの、開発期間の長期化に絡んで顧客の要望により開発の中止や開発完了が下期にずれ込む案件が複数発生した影響がでている。家庭用ゲーム機では試作を含め「Nintendo Switch」向けの開発案件の引き合いが増加傾向となっており、大型スマートフォン向けゲームの開発案件も増加している。旺盛な開発ニーズに因應べく、

収益力強化策着実にすすむ

銘柄探究



記者の目で企業実態を解析



ハリマ化成Gの連結業績推移 単位：100万円

決算期	売上高	営業利益	純利益
16/3	80,977	2,437	1,222
17/3	71,384	3,975	2,421
18/3	73,310	4,010	2,725
19/3(予)	80,000	4,500	2,950

環境対応と付加価値化

ハリマ化成グループ(4410)は収益力強化策が着実に進んでいる。19年3月期は全事業増収で、連結売上高800億円(前期比9.1%増)、営業利益45億円(同12.2%増)を見込むが、あくまで最低ラインのようだ。

にはなかったトルロジン年間2万トンの調達体制を整え、すでに17年からフル稼働。コスト競争力を強化して欧州市場に再参入するとともに、北米も黒字

ハリマ化成G (4410)

海外の粘接着剤用樹脂と印刷インキ用樹脂のローター事業は、旧ローター

中国製紙新工場稼働へ

体質が定着した。加えて、ロジン生産の際に採取される高採算のテレピン油の生産能力を増強して香料向けなどに販売を拡大しており、粘接着剤はラベルシール向けに黄ばみを抑えた新製品を投入することで収益性を高めている。

製紙用薬品は米国事業が再編淘汰により寡占化が進み、現地法人のプラスチック・テクノロジ

社が改善。さらには、FDA準拠のCAE(牛乳由来)を、使わない高分子乳剤を投入したことで、一気にかつ益力がアップした。紙力増強剤も同じくFDA認証PAA(Mポリアクリルア

ミド)を投入、米国では古紙再生ニーズが急速に高まっているが、古紙再生率は日本の55〜65%に比べまだ40%に満たず、今後一段の伸びが見込める分野だ。紙力増強剤は環境規制強化に伴い、中国でも引き合いが活発化しており、ポリアクリルアミド製品で品質要求と需要増に対応していく。また、中国では山東省で製紙薬品新工場が夏に稼働する予定。華東、華南に加え、華北へのデリバリー体制が整い、まずは物流コストの効率化を見込む。もちろん、中国の一人当たりの製紙消費量は80キログラム程度と先進国の3分の1に過ぎず、今後の需要増も視野に入れている。

電子材料はソルダペースト、自動車熱交換器用のろう付け材料や半導体用機能性樹脂が大きく伸びている成長分野で、「早期に売上高100億円(前期56億3000万円)を目指す」(会社側)構え。独自に培ってきた微細化技術で付加価値を高め、ユーザーニーズに応えることで販売を拡大していく。

樹脂化成品は印刷インキのほか塗料用樹脂、タイヤ用乳化剤を扱うが、テーマはやはり環境対応であり、水性化によるトルエン、キシレンなど脱溶剤で需要を喚起する考え。

チャート から読む 騰落銘柄

日油 (4403)



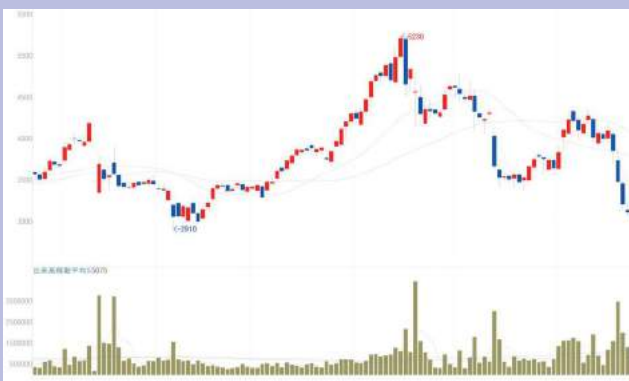
5月30日の3260円を底に6月13日には3550円の最高値を更新し、全般波乱相場でも頑強な動きが続く。貸借倍率0.90倍で需給も良好で、環境対応の防錆処理剤など注目材料も多い。

シスメックス (6869)



大勢上昇波動のなか、利益成長期待に加え信用倍率1倍割れの好需給も株価を押し上げる。適度な押目を入れての緩やかな上昇で、短、中、長期線からの上値カイ離は小さく、青空相場を一段高へ。

ユナイテッド (2497)



メルカリの上場で材料出尽くしで下落基調が続く。目先的には3000円を割れば2月6日の年初来安値2910円を意識。そこで下げ止まらなければ、17年9月8日の2437円までフシはない。

安川電機 (6506)



1月に付けた上場来高値6180円で天井打ち。25日線と75日線に上値を抑えられるかたちで下落が続く週足が陰転、200日線も割り込む。押し目買いに信用買い残が積み上がり、需給も重荷に。

潮流

日経平均上昇波動入り

ナスダックなど最高値が今後示す

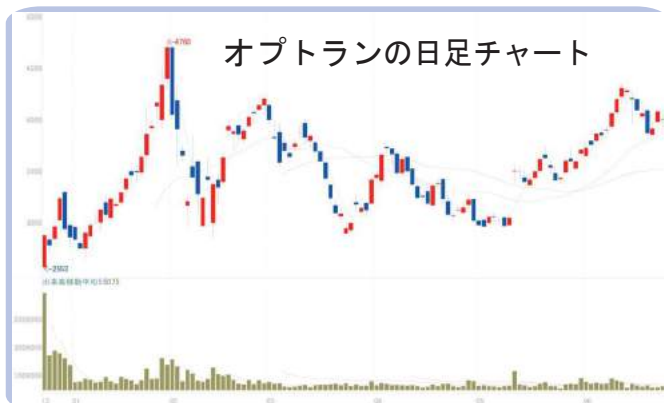


6億円買い越した。

この期間で日経平均は523円上昇した。さらに、6月第2週(11~15日)の日経平均先物とTOPIX先物の投資部門別売買動向によると、外国人投資家は先物を合算して4664億円買い越した。北朝鮮情勢など東アジアの地政学リスクを警戒していた外国人投資家が、米朝首脳会談をきっかけに株価指数先物に買い戻しを入れたようだ。

外国人投資家は年初から3月第4週までに6兆989億円も売り越しており、依然3.1兆円程度の売り玉が残っており、買い戻し余地は引き続き大きい。現在の日本株式市場は外国人投機筋(ヘッジファンドやCTA)による先物の売買で動きが決まる。個人投資家の売り越しが続こうが外国人投機筋が先物に大口買いを入れると日経平均は上昇するのである。

日柄で見ると6月第4週というのは2017年9月8日に付けた安値(1万9239円)から今年1月の高値(2万4129円)までの同じ42週目に当たる。また、日経平均が2015年の高値(2万952円)を付けた日から3周年、ブレグジットのあった日から2周年に当たる日が



外国人投資家は6月第1週(4日~8日)に、日経平均先物とTOPIX先物の合計で206

6月24日だ。サイクルから捉えると日経平均は調整を終えて上昇波動に入った可能性が高い。7月には5月高値(2万3050円)を上回るだろう。その後は1月高値(2万4129円)を目指すことになる。

外国人投機筋は先物を買うと同時に円を売る。ドル円と先物の動きは一体なのだ。先物の買い戻しが続くと考えるなら今後ドル円相場は円安に向かうことを意味する。エリオット波動では1ドル=111円40銭を上回ると115円を目指す動きとなる。米中貿易戦争で株式市場が調整すると予想する専門家が多いようだが、外国人投機筋は市場を弱気にさせて一旦は売りを仕掛けて急落した所で買いを入れるということは常套手段だ。6月21日の株式市場を見ても分かるように中国株式市場が下落しても日経平均は137円上昇した。米国株式市場で日本株やダウ平均が安い中でもハイテクの多いナスダック総合指数や小型株中心のラッセル2000が過去最高値を更新していることが今後の動きを示している。

潮流銘柄はオプトラン(6235)、レンダーズ(6069)、カチタス(8919)。



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

ら優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

外国人
3.1兆円の売り残

外需系7月に大きく戻す

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

6月第4週の東京市場は19日に日経平均が2万2200円台まで一気に下げました。翌日の20日は寄り付き段階ではほぼ前日の終わりの値で始まったのですが、その後には担保切れの処分売りなどが出て、2万2200円を割りこむところまで下落。ほぼ、5月末の2万2000円割れ近くまで接近したことになる、投げ一巡とみて下値を拾う動きが始め、戻す動きが大きくなり、ハイテクなどの外需系にで、20日には2万2500円まで回復しています。今回の相場

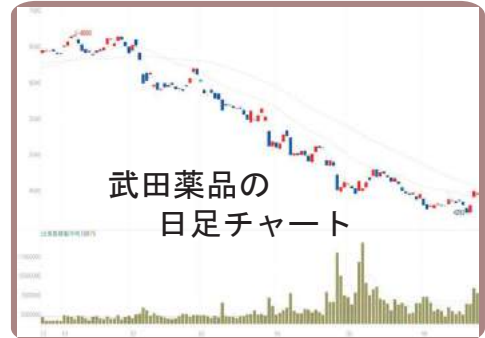
6月第4週の東京市場は19日に日経平均が2万2200円台まで一気に下げました。翌日の20日は寄り付き段階ではほぼ前日の終わりの値で始まったのですが、その後には担保切れの処分売りなどが出て、2万2200円を割りこむところまで下落。ほぼ、5月末の2万2000円割れ近くまで接近したことになる、投げ一巡とみて下値を拾う動きが始め、戻す動きが大きくなり、ハイテクなどの外需系にで、20日には2万2500円まで回復しています。今回の相場

第1四半期決算が転機に

3月決算の第1四半期決算が今月で締め切れ、来月下旬に発表されます。慎重な見通しを立てていましたが、予想より円高に見通ししていた企業がほとんどであり、いざ、ふたを開けてみると円安傾向が維持されており、米国の景気好調などが加わっていますので、恐らく、予想を上回る企業が多いとみられます。その好決算企業の多くが外需系に集中しています。決算発表前に株価が高値から30〜50も下げているのですから、外需系は7月には大きく戻す可能性が極めて高いとみられます。通商面に懸念は残りますが、その部分はかなり織り込まれてい

は2万2500円辺りが下値とみていましたが、下げに加速がついたために、2万2200円まで下がったので、やはり売りとスナナリ戻したということになります。ハイテクなどの外需は1月高値から下落傾向が続いていたのですが、来月に期日が到来します。通常、期日の1カ月前が一番安くなると言われています。まさに、その通りで19日や20日に安値を付けたといえそうです。

判断で、以前に説明した武田薬品工業(4502)ですが、一気に水準を上げました。何しろ、ここ1カ月の間に時価総額を1兆円も飛ばしています。アイルランドの有力薬品会社シヤイヤーの買収資金7兆円を調達しようとするればこれ以上の時価総額を下げることはできません。そのため修復相場に転じるとみていました。その動きが出始めたこととみることができ、シャープ(6753)も下値でのみあい状態で終えましたが、戻り歩調を今後強めていくものとみています。これに加えて、今回の狙いは西松屋チエーン(7545)、高島屋(8232)、日立製(6501)、東芝(6502)です。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
これでどや!!
<http://www.kabun-takano.com/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の 株街往来

～プログラミング教育～

知人

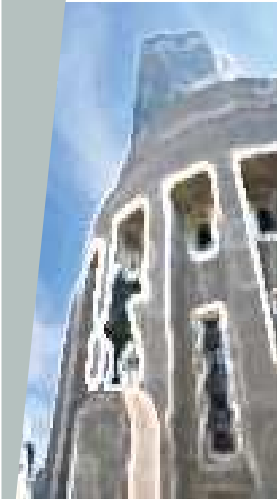
が初心者向けのプログラミング講座を始めるというので、プレ授業に参加させて頂いた。

内容はマイクロビットとコンピュータの基礎で、イギリスでは小学生の授業で行う内容らしい。これを受けたからと言って、プログラマーを目指すことは筆者の能力では無理だが、普段は何気なく使用しているパソコンの仕組みを理解する意味では有難い授業だった。

因みに経済産業省が発表した、IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果によると、2020年に36・9万人、2030年には78・9万人のIT人材が不足するそうだ。

そこで文部科学省は2020年から小学校での「プログラミング教育の必修化」を検討すると発表しているが、実際に教えるのは、プログラミングの専門家ではなくて、小学校の先生だという話もあるそうなので、それでは形式的な授業にしかならないと不安を感じた。

日本では英語教育も文法中心。実際に海外で会話しないと身につかなかった経験があるだけに、文部科学省の今回の動きも、英語教育と同じ轍を踏まなにか心配だ。



企業レター

レストラン GENMAI GENKIDO

玄米づくしの飲食店、渋谷区にオープン



グルテンフリー玄米パン「玄米100」を使用した料理「GENMAIカナッペ」

クボタ

社である熊本玄米研究所（熊本県菊池郡）と、CMなどを制作している広告会社のトレードマーク（東京都港区）は、「コメの消

（632）傘下の九州クボタのグループ会社として、6月14日に東京都渋谷区でフラッグシップとなる玄米づくしの飲食店「レストラン GENMAI GENKIDO」を

費用拡大により日本農業を支援したい」という想いのもと、合弁会社「玄米玄氣堂」を設立。今回、その第1弾の取り組みとして、6月14日に東京都渋谷区でフラッグシップとなる玄米づくしの飲食店「レストラン GENMAI GENKIDO」を

今回、オープンした飲食店は玄米100%だからできるグルテンフリーの料理などを提供する国内初のレストラン。玄米を使った料理を美味しく健康的に食べてもらうため、イートウォークの代表取締役である渡邊明氏が料理開発を担当し腸内環境・糖質・脂肪に配慮した健康的な料理を開発した。今後も、玄米パン玄米パスタの販売やレストランでの玄米料理の提供を通じて、コメの消費拡大による日本農業の活性化に貢献していく。

「レストラン GENMAI GENKIDO」
（東京都渋谷区松濤1-26-21 Ridgely）
松濤1階）はJR・東京メトロ・東急線各線「渋谷駅」より徒歩10分、京王井の頭線「神泉駅」より徒歩4分で、営業時間は平日11時30分～15時／18時～23時（ラストオーダー22時）まで。定休日は月曜日（祝日の場合は翌火曜日）で、約48席を用意している。

日経225先物日足チャート



敏腕先物ディーラー ハチロクの裏話

上値の重い展開に

仕掛けたな売りには注意

月曜日には早朝に大阪で震度6弱の地震があり、関西圏の鉄道は全て運休となり大混乱となった。筆者は大阪に住んでいるが体感としては阪神淡路大震災並みの揺れがあった。そこで話題になったのがガスの復旧作業。阪神淡路大震災後、ガスは震度5以上で自動的に供給がストップするようになっていた。そのおかげで今回の地震でも火事が少なかった。しかし、「自動停止する」ということを知らない人が多く、大阪ガスに問い合わせが殺到したようである。自動停止したガスは自分でガスメーターに付いているボタンを押し、リセットしなければならぬ。恥ずかしながら筆者も知らなかったが、息子が知っていた。突然起こる地震、相場も突然起こる急落、どちらも慌てないよう事前の準備と冷静な対応が必要だと痛感した。

相場のほうは先週は大きく上下した。地震に始まり、火曜日には米中貿易摩擦が過熱、これが大きく相場を冷やした。下値抵抗ラインであった基準線をあっさり割り込み、火曜日

は先物で2万2740円まで戻したものの、金曜日にはまた大幅に反落、方向感の無いボラティリティの高い動きとなった。一目均衡表の基準線（先物で2万2430円）を大きく下回ると買われるが、上回ると売られるといった相場であった。

今週は方向感が出にくい上値の重い展開となりそうである。ボリンジャーバンドのバンド自体はやや収斂してきており、 $\Delta 1\sigma$ （2万2800円）と $\Delta 2\sigma$ （2万2020円）の間で動きそうである。TOPIXでは5月末の安値を更新しており、日経平均も値嵩株の動きがとまれば下値を試す展開は十分考えられる。仕掛けたな売りには注意したい。

今週のスケジュール

- ・ 22日 石油輸出国機構 (OPEC) 総会 (ウィーン)
- ・ 25日 6月14・15日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」
独6月Ifo景況感指数 (17:00)
米5月新築住宅販売件数 (23:00)
- ・ 26日 新潟県知事選挙投票
- ・ 28日 5月小売売上高 (8:50)
2年国債入札
米1-3月期GDP確定値 (21:30)
- ・ 29日 5月労働力調査・有効求人倍率 (8:30)
5月鉱工業生産 (8:50)
6月消費者態度指数 (14:00)

ジャングルを走り抜け、猛スピードで海に飛び出したモトクロスバイクがサーフアーのように海面を滑走、さらに勢いをつけ、うねる大波を華麗に乗りこなす。常識を覆す数々のスタントに挑戦してきたオーストラリア出身のライダー、ロビー・マディソンがスノーカブブランドとのコラボで製作したビデオが世界中の話題になっていく。映像の再生回数は2000万回に迫っているという。何事も流れに逆らわず、波に乗るのが需要で、当面は強い中小型株の下値狙い、噴き値売りでよさそう。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。